

かんがえるって おもしろい！

がくしゅう ひかりのくに もっとしりたい！

5領域
10の姿
との関わり

人

環

言

3

6

7

9

今日の活動のねらい

- ★水の形を観察し不思議さに気付く
- ★水の形に興味を持ち、試行錯誤しながら
いろんな形を作って楽しむ

活動時間

40分

タイミング

晴れの日

午前中

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい！ 7月号
p.2～7

自然・科学

みずって どんな かたち？



活動の内容と流れ

水の形について考えることを楽しむ

保育者の絵本一冊で読み進める

→考えるところは、子どもたちがじっくり考えられる時間を
とり話し合う

→各自の本を細かなところまで読み取りながら気付いたことを話し合う

→プールのときに試してみる

または出来そうなものを試して子どもたちの興味が持てるようにする



保育者の ◆ 環境づくりと ○ 援助

◆
子どもたちに知らせる前に
保育者自身いろいろ試しておく

◆
プール遊びの時間などを利用して
思いきり楽しめるようにする



◆
実験するものを用意しておく

○
○○だったらどうなるか→予想
→実験→結果と試したものを壁
に貼るなどして可視化したり発
表する場を持つ

○
水が資源であることにも触れ
無駄遣いにならないように話す

活動後、振り返りのポイント

★水の形の面白さを感じられたか

★どんな形を見つけれられたか、クラスで発表し共有する

今日の活動のねらい

- ★7の数の構成に気付く
- ★シール貼りを楽しみながら合成分解を確認する

活動時間

30分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 7月号
p.28~35

数

トマトが できた!
さて なんこ?



活動の内容と流れ

絵本を見ながら実際の数に触れ、理解を深める

絵本のトマトを数え、7の数を丁寧に確認する

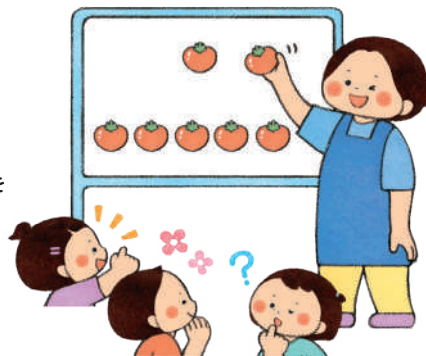
→ボードにイラストや磁石を貼ったり、ペープサートなどを

用意したりして数をわける、あわせるなどし、

理解を深める

→シールを貼って確かめる

→実際に動いてみて7の数を作るゲームをする



保育者の◆環境づくりと ○援助

○
7つ数えるのが難しい子には
5の集まりと2があることを
伝える

◆
繰り返し見られる
ようにしておく



◆
トマトの数を数えるときに使えるよう、
イラストや磁石などを用意する

○
実際にグループを
作って並んでいく

○
人のところにはあと何人行けば良い
のか、などゲームを通して7について
知ったり考えたりする機会を作る

活動後、振り返りのポイント

★数への興味、理解は広がったか

★7の数の構成について理解できたか一人ひとり確認してみる

今日の活動のねらい

- ★文字ボタンの遊びを通して音と文字の対応を学ぶ
- ★文字に興味を持つ

活動時間

30分

タイミング

午後

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 7月号
p.8~11

言葉

ぜんぶの どうぶつを
よべるかな?



活動の内容と流れ

文字ボタンや動物の名前を丁寧に声に出して確認しながら進める

各自絵本を持って一緒に進めていく

→絵を見て動物の名前を呼んでみる

→文字ボタンカードを切り離し、「しか」から押していく

ボタンの色も伝えながら一文字一文字確認していく

→他の動物も声に出してボタンを確認し丁寧に組み合わせ

ボタンを押しながら声を出すことを繰り返す

→友達同士、一人てなどボタンを押して楽しむ

→文字の書いていない動物の名前も確認し、文字をホワイトボードなどに

書き示し文字ボタンを押してみる



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
ひらがなに興味を持ち取り組めるよう
1文字1文字ゆっくりと進めていく

○
「文字ボタンカードで自分の名前を
押せるかな?」などと確認し、足り
ない文字を空欄に書き足すなどして
身近な文字から興味を深める



○
子どもたち一人ひとりの様子を見
てまわり必要に応じて声かけ
をしていく

○
色に注目したり声に出したり
しながら文字が読めない子も
楽しめるよう配慮する

活動後、振り返りのポイント

- ★ひらがなの興味を広げることができたか
- ★音と文字の対応の認識が楽しく深まったか
- ★意欲的に取り組めたか

今日の活動のねらい

- ★気持ちには様々な表現があることを知る
- ★自分の言葉でびっくりの気持ちを表す

活動時間

20分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 7月号
p.12-13

気持ち

びっくりって どんな きもち?



活動の内容と流れ

絵を読み取り表情やシチュエーションを考える

絵の読み取りに充分時間をかける

→みつけた「びっくり」を発表する

→うれしいびっくりと、そうでないびっくりに分ける

→どんな表情をしているかをみんなて考える

→どんなときにびっくりするか意見を出し合う



保育者の◆環境づくりと ○援助

○
どんな場面でこの言葉を使うのか
自分だったらどんなときにびっくり
するのか伝え合う

○
一人ひとりの考えや思いを
充分に聞き、全体で共有する



◆
「○○○だからびっくりした」
と、言葉にしておく

◆
友達とびっくりした顔を見
合ったりすることで
表現力を身につける

活動後、振り返りのポイント

- ★気持ちを表現する言葉の意味を理解できたか
- ★表情や様子から気持ちを感じることができたか
- ★今まで「すご!」「やば!」と言っていた子がいろんな表現を使えるようになったか

今日の活動のねらい

- ★生き物の誕生と成長を通して飼育員さんの仕事に興味を持つ
- ★絵や写真をよく読み取り話し合う

活動時間

15分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 7月号
p.14~27

社会のお話
あしかの あかちゃん



活動の内容と流れ

絵や写真に注目し、クラスで話し合う

先生の本をみんなで見る (1回目)

→各自、絵本を持って1ページずつ見ていく

気付いたこと、思ったことを話し合う

→P24~のアルバムは写真をじっくり見て話し合う



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
図鑑などの用意をしておき、
他の動物の赤ちゃんの成長も
調べられるようにしておく

○
赤ちゃんの成長の様子を知り
自分の様子と重ね合わせてみる

○
子どもたちが興味を持った
ことを可視化する



活動後、振り返りのポイント

- ★他の動物の赤ちゃんなどにも興味を持てたか
- ★飼育員さんのお仕事に興味を持てたか
- ★主体的に調べようとする姿勢があったか

ちょこっとコラム

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 7月号

p.12-13

気持ち

びっくりって どんな きもち?



監修・菅野信夫先生

これまでに経験したことのない、もの、こと、人、と遭遇した時、人は「びっくり」します。それはルーティンではない、日常から外れた新しい対象との出会いでもあります。新しく入った大好きな絵本、担任の先生、同じクラスになった友達……。

びっくりには自分の世界を広げてくれる良いびっくりと、してほしくないことをする、される、言われる、ルールを守らないといった嫌なびっくりがあります。「びっくり」は自己にとって安全かどうかの判断が求められる緊張の時間なのです。びっくりへの対応は時間のかかる慎重派と、テキパキと処理する場慣れタイプがあり、それぞれの個性によって対応は異なります。どちらが良い悪いではなく、自分のタイプを普段から知り、それに合った選択をすることが大切です。

判断がO.K. となったら welcome ! 緊張した表情は一気に打ち解け、笑顔に変わります。「びっくり」が喜びのドアにつながると予想される時は good、この後はどんな素敵な時間が待っているのかな。

判断が棚上げとなった場合、この状況の査定が猛スピードで始まります。そこでO.K. とならなければ保留、距離を置いての査定が続きます。判断が確定するまでは緊張の時間、居心地が悪いですね。しかし保留が何度あっても、次の機会は必ずやって来ます。「どきどき」が「うれしいびっくり」に代わるといいですね。